

島田 立宇(しまだ りつう)

資 料

短冊『葬(あさがお)や 潤む込見る 今朝の隙 立宇』

作 者

1787(天明7)－1866(慶応2). 11

越後(新潟県)生まれ。

江戸に出て遠藤雄啄に俳諧を学ぶ。天保15年頃10世鳴立庵庵主になる。

また、立宇の死後、妻佳梅尼が庵に留まり、明治4年11月に没するまで、事実上の庵主を務める。

参考文献

『小餘綾集』(立宇／編 1842 [飯田九一文庫])

